

理工学 メディアセンター ニュース



Information and Media Center
for Science and Technology
Newsletter

応用化学科 緒明佑哉先生の1冊

『論文捏造/村松秀 著』

配架場所：本館2階

請求記号：407@M11@1



歴史は繰り返す。昨年、ましては研究における不正が大きな話題となりました。本書は2006年に出版され、今から10年以上前にあった不正について書かれています。

私は、自身には関係無い、何か良からぬ話題だと思っていましたが、「論文を捏造？なぜ？どうやって？」という点が気になったため読んでみました。すると、本書は、様々な思惑・事情が複雑に絡み合ったとき、誰もが不正に陥る可能性がゼロではないことを示唆していました。自分自身を戒め、謙虚に研究に向かい続けるためにも、私も本書をたまに目を通すようにしています。

最近、様々な研究倫理に関する教育がありますが、本書のリアリティに勝るものは無いように思います。学生の皆さんには、これから理工学部・研究科を巣立って活躍される前に、講義・研究活動ではなかなか出てこない負の側面について学んで頂ければと思います。

Contents

10/28(水)ビブリオバトル開催	P.1
ブルーボックスを知っていますか	P.1
LET'S GO TO THE MUSEUM	P.2
Mendeley活用セミナー開催	P.2
JIS規格の購入終了	P.2

イベント

10/28(水) ビブリオバトル 開催！

バトラーがお気に入りの本の魅力を熱く語って競い合います。あなたが一番読みたくなった本に投票してください。ビブリオバトルはバトラーだけでなく、会場にいる全員が主役です。

皆様のご参加をお待ちしています！

【開催日時】

10月28日(水)17:00-18:00

【場所】

理工学メディアセンター

【対象】

※申込不要。直接会場にお越しください。

知的書評合戦
ビブリオバトル

開催：10月28日(水)
17:00-18:00
場所：矢上キャンパス創想館1階
理工学メディアセンター
事前申込：不要
(直接会場にお越しください)

ビブリオバトルを観戦してみませんか
発着者がお気に入りの本の魅力を熱く語って競い合います。あなたが一番読みたくなった本に投票してください。
皆様のご参加をお待ちしています！

ビブリオバトルとは？

- 発表者(バトラー)が面白いと思った本を持ってきて集まる
- 順番に1人5分で本を紹介する
- それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2~3分行う
- 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする

お問い合わせ：理工学メディアセンター
HP: <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/> E-mail: r-info@lib.keio.ac.jp

■ビブリオバトルとは？

- 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 順番に一人5分間で本を紹介する。
- それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2~3分行う。
- 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。



去年は、学部生・院生から職員まで5名のバトラーによって、感動のノンフィクションやディストピア(反ユートピア)を描いた近未来小説など、多岐にわたるジャンルの本が紹介されました。今年はどうなる本のラインナップになるのでしょうか。

紹介された本は、後日メディアセンターで借りることができますので、こちらもご利用ください。

**バトラーもまだまだ募集中です！ 応募締切:10月18日(日)※延長しました！
申し込み方法は理工学メディアセンターWebサイトでご確認ください！**

展示

ブルーボックスを知っていますか

MEDIA CENTER
小展示
ブルーボックスを知っていますか
理工学メディアセンター創想館1階
2015年10月2日(金)~11月30日(月)

講談社ブルーボックスは、高度成長期を迎えた1963年に創刊され、2013年に50周年を迎えた科学系新書の草分けです。キャッチフレーズは「科学をあなたのポケットに」。日常のあれこれから最先端の技術まで、科学に関する様々なトピックを取り上げ、これまでの発行点数は1,800点以上、累計部数は7,000万部を超えています。

今回は理工学メディアセンターでよく借りられる人気のタイトルを一堂に集めてご紹介します。名著も多いといわれるブルーボックスを、あなたも一度手にとってみませんか？

展示資料は一部を除き、すべて借りられます。

【期間】2015年10月2日(金) -11月30日(月)

【場所】理工学メディアセンター創想館1階

メディアセンタークイズ

1,935点

何の数字でしょう？

ヒント：今月号の展示のお知らせ
に関係ある数字です。

答えは紙面のどこかに…

今月の1枚：

図書館の自由に関する宣言

図書館の自由に関する宣言

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もつとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確立し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

実写映画、漫画、アニメにもなった小説『図書館戦争』でご存知の方もいるのではないのでしょうか？

この宣言は、戦前・戦中に図書館が「思想善導機関」として読書の自由や知る権利を妨げる役割さえ果たしてしまったことを反省し、1954年に日本図書館協会によって採択されました。現在の図書館は、1979年に改訂されたものに基づいて運営されています。

前述の『図書館戦争』は著者の有川浩がこの宣言を見たことが執筆のきっかけとなったそうで、作中の「図書館の自由法」はこれがもとになっています。

なお、全文は下記のWebページに掲載されています。

<http://www.jla.or.jp/>

発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

TEL: 045-566-1477

FAX: 045-566-1486

E-mail: riko-info@lib.keio.ac.jp

Web : <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>

Twitter : <https://twitter.com/scitechmckeio>

電子版は、ΣStarからご利用ください。

展示

LET'S GO TO THE MUSEUM

創想館の学習エリアにあるKOSMOS端末の周囲に各種展示会のパンフレットを掲示しています。パンフレットは毎月張り替えていますので、興味のある展示を見つけられるのではないのでしょうか。ぜひ、一度ご覧になってみてください。

また、2014年度より慶應義塾は国立科学博物館の「大学パートナーシップ」と東京国立博物館の「キャンパスメンバーズ」に加入しています。この制度を利用すると、塾生は国立科学博物館と東京国立博物館で学生証を提示するだけで常設展の入館料が無料になり、特別展にも割引料金で入館することができます。

これを機にメディアセンターとあわせて美術館・博物館にも足を運び、知見を広げてみませんか。



国立科学博物館「大学パートナーシップ」・東京国立博物館「キャンパスメンバーズ」
制度の詳細については下記よりご確認ください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/museum/>

セミナー

Mendeley活用セミナー10月開催

卒論や論文執筆時、引用文献リストを作る際に何かツールを使っていますか？10月は論文管理と引用文献リストの作成を行えるソフトウェアMendeleyのセミナーを開催します。英語文献を扱う研究者・学生におすすめです。

【開催日時】(全て同じ内容です)

- ①10月13日(火) 13:00-14:00
- ②10月14日(水) 13:00-14:00
- ③10月15日(木) 13:00-14:00
- ④10月16日(金) 10:45-11:45
- ⑤10月21日(水) 15:00-16:00
- ⑥10月22日(木) 15:00-16:00

【内容】はじめて使う方向けにMendeleyのひとつおりの機能を実習形式でご案内します。

【会場】地下1階 セミナールームA

【申込方法】当館Webサイト> 申し込む> Mendeley活用セミナーからお申込みください。

コレクション

JIS規格の購入終了

2015年7月をもって、別館に配架しているJIS規格の購入を終了いたしました。洋雑誌の価格が原価値上がり円安により高騰し、資料購入のための予算が逼迫してきたため、購入している資料の見直しを行った結果、代替の利用手段があるJIS規格を中止することになったためです。

JIS規格は日本工業標準調査会のホームページ上で全文を公開しています。検索・閲覧は可能ですがダウンロード・印刷をすることはできません。最新の規格を冊子体で入手するためには、(一財)日本規格協会から個人で直接購入していただくことになります。

日本工業標準調査会

<http://www.jisc.go.jp/index.html>

ご不明の点がありましたら1階レファレンスデスクにお尋ねください。利用者の方にはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作者の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。(理工学メディアセンターWebサイトのパートナーからΣStarに移動できます)



リコメ☆ニュース購読受付中!

新サービス、データベースや電子ジャーナル、各種セミナーやイベントなどのお知らせをメールでお届けします。

こちらのQRコードか、理工学メディアセンターWebサイトの「申し込み」メニューよりお申し込み下さい。

(対象:慶應義塾大学在籍者)



メディアセンタークイズ

答え：講談社ブルーバックスの刊行点数 (9/25 現在)です。2013年で創刊50周年を迎えたブルーバックス、さすがの刊行点数ですね。当館ではこのうちの1,035冊を所蔵しています。